



山脇学園 高校1年
学年通信
2025年 9月号

2学期が始まって、ひと月が経ちますね。学園祭が終わり、次は体育祭が控えています。怪我に気を付けて練習に励んでください！

ノーベル賞が問いかけるもの

2学期の序盤は学園祭から始まり、非常に慌ただしいというのが風物詩。準備はどこまで進んだの、何を買ったの、誰が残れるのと声が飛び交い、そうこうしている内に学園祭前日。間に合わない、どうしよう。でも、終わってみれば、みんな笑顔で絆が強まっている。熱がさめやらぬ間に、今度は体育祭が待っている。良い意味でのざわめきが漂っている今日この頃ですが、世界もまたそわそわとし始めています。

10月の第1週は「ノーベル賞」週間です。毎年下馬評の方が白熱している感じですね。ノーベル賞で思うことは、受賞された方の研究が上手く広まっていないということです（こう感じるのは私だけでしょうか。そもそも、日本人ですら、日本人が受賞した研究を知らない人が沢山です）。それはとても残念なことですが、記事を書く方も頭を悩ませているのだらうなと推測します。自分の専門分野ではないことを、一般の方に分かりやすく伝えなければならないのですから。研究を発信することは、難しいですね。

前置きが長くなりましたが、今回は「ノーベル賞」についていろいろと書いてみようと思います。本当は授業で数時間お話ししたいくらいですが、週2時間という制約の中では厳しい状況です。学年通信を通じて、自分が考えていることを綴ってみます。

ノーベル賞の始まりは、アルフレッド・ノーベルという人物の遺言が発端です。彼はダイナマイトの発明で巨万の富を得ましたが、同時に死の商人と世界から批判されてしまいます。ダイナマイトが普仏戦争から兵器として利用されてしまったからです。彼は自分の死後、人々にどのように記憶されるかを考えるようになりました。そして、有名な遺言「私の全資産を基金に当て、その利子を賞として、毎年、その前年に人類に最大の寄与をしたものに授与する」を残したのです。記念すべき第1回ノーベル賞が授与されたのは、1901年、彼の死後5年目のことでした。1901年は20世紀の幕開け——。20世紀は人類にとって激動の時代となります。世界恐慌、二度の世界大戦、冷戦と21世になった今でも、その爪痕は深く刻まれています。皮肉なことに、戦争は化学を飛躍的に発展させます。ノーベル賞の研究も、受賞した本人の意思に関係なく戦争に利用されてしまいます。例として、アインシュタインが導いた $E=mc^2$ という公式が挙げられます。かみ砕いて言えば、「どんな小さい物質でも莫大なエネルギーを秘めている」ということです。この理論は原子核分裂の鍵となり、原爆開発へと続き、結果多くの日本人が犠牲となりました（原爆は当初、ドイツに落とす予定でしたが、原爆完成の前にドイツが降伏し、降伏を躊躇していた日本に落とされた経緯があります）。

一方で、原爆の被害を受けた日本もまた、原爆開発に着手していたことを、皆さん知っていました。アメリカとの国力が違いすぎたため、日本は完成に至りませんでした。その資料が理化学研究所に残されています。実際、原爆の材料となるウラン鉱を採掘するために、福島県の学生たちが勤労動員されています。つまるところ、原子核物理を研究していた科学者は、どこの国であっても、兵器へ利用できることは分かっていたわけです。やるせない気持ちになります。本来化学は、人類を幸せにするためのものです。ノーベルも自らの罪を償うために賞を設立したはずなのに、その遺志に反することが繰り返えされている。人類も化学も罪深いものです。

ここからは、一筋の光の話を。核の恐怖を目の当たりにした人類は、核の力を生かす道を模索していきます。アインシュタインは、ラッセル・アインシュタイン宣言を発し、世界的な科学者の連名で核兵器廃絶、科学技術の平和利用を訴えます。長崎出身の永井隆博士も、核技術が文化運用されるよう願いました。永井博士に関しては、来年長崎修学旅行に関して、必ず登場する方です。博士の人生をぜひ調べてみてください。私たちの身近な例で言えば、化学基礎で学習した放射性同位体です。この技術のおかげで私たちはCTやがん治療、遺跡の年代測定ができるわけです。想像してみてください。レントゲンのない世界に戻ることはできるでしょうか？

化学は常に光と闇を有します。ノーベル賞の発表が近づくと、今年はどんな研究が受賞するのか、ワクワクすると同時に、賞の原点に立ち返ることの重要性を思い知らされます。私たちが学んでいる・研究していることはどんなに小さいことでも、誰かのためになる。そうでなければならないと思います。

皆さんが社会で活躍する日は必ず来ます。化学にとどまらず、それは自分が今まで身につけたことを、人のために役立てるということです。自分の力が人を笑顔にする、素敵なことだと思いませんか。

沢山のことに触れましょう！ 立ち止まっている暇はありません。

<後書きてきなこと>

ノーベル賞を通じて、少し化学史を紹介してみました。教科書に出てくる科学者のエピソードは興味深いものばかりですので、調べてみましょう。ラボアジエからいかがですか？ あと、ノーベル賞になぜ数学がないのか疑問にかんじたことはありませんか。その理由を知ると、ノーベルも一人の男性なんだと笑ってしまいます。

<今年のノーベル賞日程>

今年のノーベル賞は10月6日からとなります。6日が生理・医学賞、7日が物理学賞、8日が化学賞、9日が文学賞、10日が平和賞です。経済学賞は元々なく、後から設立された賞で、13日となります。日本時間の19時頃、毎年発表となっています。既に、受賞有力候補者があがっていますので、どんな方々がいらっしゃるか見てみると面白いです。

ノーベル賞とは違いますが、「イグ・ノーベル賞」は今年も日本人が受賞しています。19年連続の快挙です。イグ・ノーベル賞は人々を笑わせ、考えさせた研究に贈られます！ 今年の受賞研究は「シマウシ」でした。農研機構のグループさんが受賞しました。シマウマの縞模様には虫よけの効果があるという海外の研究をもとに、黒毛のウシに縞模様をつけ、模様のないウシと比べて、虫のつく数が半分ほどに減少することを突き止めました。大変ユニークな発想で、効果があるとはすごいですね。イグ・ノーベル賞の受賞はかなり好意的に受け止められているものですので、来年も日本人の受賞が楽しみです。

（副担任 廣瀬 里佳）



10月		
1	水	都民の日
2	木	
3	金	
4	土	午前午後:入試対策説明会①*
5	日	
6	月	
7	火	学年ランチA〜D
8	水	
9	木	
10	金	土曜時間割・午後体育祭準備
11	土	体育祭(雨天順延)
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	
15	水	防災訓練
16	木	学年ランチE〜G
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	2学期中間考査
24	金	
25	土	TOEFL jr.①
26	日	
27	月	中学探究日
28	火	
29	水	
30	木	高校模試日
31	金	
*10/4授業あり サイエンスクラス中間発表会		

【今後の予定】

＜体育祭＞

10月11日は体育祭です。練習してきた成果を存分に発揮してください。また、雨天順延となります。天気注意到、日程が移っても対応できるようにしましょう。

＜夢ナビ＞

10/4(土)・5(日)に夢ナビのメインイベントである夢ナビライブ(研究室訪問&大学説明会)が開催されます。土曜日は下校後に、日曜日は休日を丸一日活用して、進路研究を進めましょう。特に文理選択後の、学部学科や志望校の決定に役立つ筈です!!

＜中間発表＞

10月4日(土) 午前：通常授業 午後：入試対策説明会
サイエンスコースの生徒は入試対策説明会で来場する受験生と保護者向けに研究内容の中間発表を行います。サイエンスコースの生徒、お手伝いがある生徒はお弁当が必要になります。なお、中間発表については、保護者の来校はできません。ご理解とご協力をよろしくをお願いします。

＜山脇祭＞

山脇祭おつかれさまでした！ 各クラス学園祭のテーマに応じた展示を発表していましたね。クラスの見どころやクラスらしさを報告します。

◇A組（仲田先生）

Best of 山脇をいただきました。私はな〜んにもしておらず、みなさんの着眼点、企画力、協働力の素晴らしさが光りました。企画段階で、複数のアイデアをピッチプレゼンしていた姿が印象に残っています。実は、**クラス展示での皆さんの取り組みは、2学期のIEPで学んでいる『デザイン思考』をトレースしていたこと**に気づいていますか？ペルソナ（来場者は平成が懐かしい保護者世代と高校生以下）を考えて、平成のアイドルグループのダンスをチョイス、女子ウケするように教室をピンクで装飾し、ダンスビデオはプロトタイプを作って再編集してクオリティを高める。まさにDesign Thinking！。今年の山脇祭はみなさんのアナザースカイになりましたね。体育祭でもまた私をあっと思わせた驚かせてください。
みんな、いつもありがとうね！

◇B組（坂本先生）

B組は占いの館「龍恵館」。短期間で作り上げた皆の集中力に驚きました。皆に伝えるための段取りを考えたり、タロットの説明をコツコツ作り上げたり、おみくじに和歌を入れ込んだり、占いの準備をしたり、内装や外装も。。。(写真の加工にびっくり) 工夫して作った小窓が当日朝に倒れてしまったこともありましたが、機転を利かせて乗り越えていましたね。言葉を伝える重さを感じながら、お客様と向き合っている姿、頼もしかったです！
みんなの未来は明るいものになるであろう！！(Infinity めぐ)

◇C組（猪野先生）

「Doll House」というお化け屋敷をやりました。OGの子たちと私も一緒に入りましたが、猛烈に怖かったです。呪われた人形というストーリー性に加え、キーワード探しというゲーム性もあり、完成度が高く大盛況でした。取り掛かりも早く、クラスシャツ委員・クラス企画委員・会計係を中心に団結し、役割分担しながら準備がで

きたと思います。この経験を教科学習などにも活かしましょう。しかしながら、かつて4階が高3だった時の三者面談後に、私・生徒・保護者の3人で人影(幽霊?)を目撃したフロアなので、本当にお化けが出ないかとビクビクする毎日で、万ーに備えお祓いに行こうか、お札を買おうか検討中です。

◇D組（平石先生）

D組はお化け屋敷とキッキングスナイパーを組み合わせた「霊蹴屋敷」という企画を実施しました。9月に入っても中々準備が進まなかったの、大丈夫かなあと思って様子を見ていましたが、準備期間に入った途端、一気に外装・内装が完成し、生徒の集中力のすごさを目の当たりにしました。生徒は、やればなんでもできるんだなあ実感しています。毎日、忙しい日々を過ごしているとは思いますが、この文化祭のように、自分の「志」の実現に向けて、挑戦を続けて欲しいと思います。

◇E組（熊倉先生）

「ミタマ廃病院」と題したお化け屋敷を創り上げていましたね。E組は、クラス企画委員6名、会計係5名という大所帯でのスタートでした。文化祭に向けて熱い気持ちが感じられ担任としては嬉しい反面、きっと当日を迎えるまでには大人数ならではの難しさもあるのではと心配な気持ちもありました。結果、担任が何も手を加える暇もなく、立派にやり遂げてくれました。クラスの皆さんが自分の役割を見つけ、しっかりと行動に移していた証だと思います。1人1人の優しさや温かさ、一生懸命さを身近で感じられた山脇祭期間でした。頼もしい姿を見せてくれて、ありがとう！とても嬉しかったです。これからも、Brilliant, Envision, Adaptable, Receptiveなクラスを目指して楽しんで過ごしていきましょう！

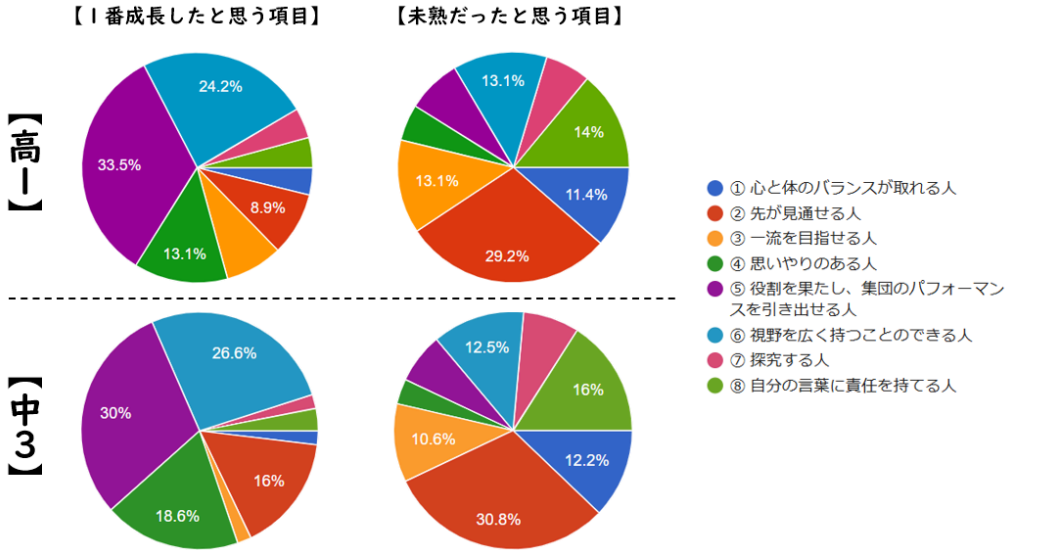
◇F組（黒田先生）

山脇祭で「カジノやります！」と聞いた時、正直びっくりしました。でも、準備が始まってから、私は少しワクワクしていました。企画やTシャツについて次々に計画が進み、初めに感じていた心配していたことはきっと起きないだろうな！と思えるようになりました。ただ、頑張っているからこそ起きたこと**（職員室にいきなり届いたトランプやライト、当日にクラスTシャツが届くという連絡などなど）**で毎日がサプライズでした。最終的に完成した巨大なサイコロのオブジェやトランプタワーはどれも細部までこだわって作り上げられていました。本気のF組ってすごい！と心から感じました。「黒田先生、肖像権大丈夫ですか？」と聞かれたときも、"これだけ頑張ってるもん！"と思って写真を渡したら、"まさか自分がジョーカーになるとは...でも、これも最高の思い出です。ありがとう！"

◇G組（潘先生）

Gは脱出ゲームでした。企画設定から準備、会計の計算まですべて自分たちでやっていて素晴らしいかったです。高校生になると全部自分たちでできるんだと感心しました。特に皆さんが自走していることを一番実感したのは9月12日の終礼後です。「明日のためにお客さんの動かし方の確認をしよう！」とクラスの誰かが提案したので「お客さんやろうか？」と聞いたところ「あ、いいです。」と言われました。本当に感動しました！自分のクラスにお客さんとして入ったのは本当に初めてで皆さんの成長を客観的に感じる事ができてうれしかったです。そして、展示楽しかったです！本当にお疲れさまでした！

＜山脇祭の振り返り＞



＜山脇祭の振り返りより＞

【1番成長したと思う項目について】

⑤ 役割を果たし、集団のパフォーマンスを引き出せる人

・今年度は、自分のすべき仕事をやり遂げるだけでなく、クラス全体でのパフォーマンスを向上させるために、自分が貢献できることを探して行うということを意識して、山脇祭の準備・当日を過ごすことが出来ました。私は内装のフォトブースを作る係を担っていたのですが、教室の構造を生かした提案や、効率よく準備するための計画などを係内で積極的に共有したことで、他クラス・多学年・来校者から評価されるようなフォトブースを作り上げることが出来ました。また、クラスの展示をより良い物にするために、ホワイトボードにイラストを描いたり、外装の手伝いをしたり、率先して教室の掃除を行うようにしました。

・私はデザインのセンスがありませんので、今までの山脇祭準備ではデザインは他人に任せ、自分は切る、貼るなどの作業が中心でした。それなのに、今回の山脇祭で壁の装飾の案を考えることになりました。初めは少し困惑しましたが、前からこんなのがあったらいいなと思っていた案があり、思い切ってそれを提案したら友達にいいね！と言ってもらえました。そこから、デザインから完成まで友達の手も借りながら自分でやり、一つだけですが装飾を作り終え、友達にも褒めてもらえてとても達成感がありました。言われたことをただやるのが得意だと思っていたのですが、今回の山脇祭を通じて自分の新たなスキルを発見できたのが嬉しかったです。

⑥ 視野を広く持つことのできる人

・文化祭を通じて、視野を広げることの大切さを感じた。仲間との協力や意見交換を通じて、異なる視点を尊重することが重要だと実感した。また、自己表現の場として自分の強みを活かしつつ、他人の意見を受け入れることがより良い成果を生むと気づいた。準備を通じて計画力や効率的な行動力も身に付き、結果だけでなくその過程が大きな学びとなったと思う。

④ 思いやりのある人

・来てくれるお客さんがどのようにしたらもっと楽しめるか思いやりの心を持ってよく考えて試行錯誤できたと思う。また、クラス内で準備する段階でも、文化祭期間はトラブルも起こりやすいと思うので少しの間でも物を借りるときは親しいともだちでも失礼ないように聞いて感謝の気持ちをちゃんと言葉で表すことができた。

【未熟だったと思う項目について】

② 先が見通せる人

・今回の活動では、先の流れを十分に考えられず作業が後手に回ってしまったことがありました。今後は、活動の全体像を把握し、やるべきことを小さなタスクに分けて整理したいと思います。また、それぞれの作業に必要な時間を見積もり、余裕をもった計画を立てたいと思いました。進行状況を定期的に振り返り、仲間と情報を共有することも意識したいです。これらを実行することで、今後「先が見通せる人」として成長していきたいです。

⑧ 自分の言葉に責任を持てる人

・まず、シフトなどのクラス全員に影響するようなフォームやアンケートはきちんと期限までに答えることが大切だとわかりました。特に、入れる時間が少なかったので、入れないところにシフトがあって行けなくて申し訳なかったです。なので、そういう時はクラスに与える影響を考えて行動すべきでした。これからは、分かっていることはすぐに伝えるのが良いと思いました。

③ 一流を目指せる人

・たまに楽しくなりすぎてしまって、「山脇生」という意識を持って行動することができていなかったと思います。文化祭に来ている保護者の方や、受験生を前に、自分の行動で山脇生全体の印象が下がらないように、すれ違った人には挨拶をしたり、外れている装飾があったらつけ直したり、模範となれる山脇生を目指したいです。

⑥ 視野を広く持つことのできる人

・自分の担当のところは大体何をすればいいか理解して終わったらすぐ次の作業に取り組みたけれど、他の担当（例えば内装やステージなど）の人たちが今やっていることなどをあまり見れずに何をやっているのかわからなかったので視野を広く持つことができなかった。今後はもっと誰が何をやっているのかを見て、それぞれの進捗やどのようなことをやろうとしているのかをみんなで、認識合わせをしていきたい。

【最後の山脇祭に向けて】

・お化け屋敷以外の事するぞ！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！

・さいごだ———！たのしみわくわきうきうきわくわくどきどきわくどき

・今回のエンディングセレモニーを観て、私たちも来年が最後の山脇祭だということをひしひしと実感しました。来年は最後の行事になるので、今年よりも色々な面で進化した姿を目指し、より良い山脇祭を作りたいです。

・文化祭の最高学年として、一人一人輝いて学年全体のオーラを出して、下級生を圧倒させたいし、全員で一つになって最高の思い出をみんなでつくりたい！

・みんなで、今までで最高の唯一無二な山脇祭を作り上げよう！！！！

【たくさん頑張ってくれた実行委員のみんな、クラスのみんなに一言】

・本当にたくさんがんばってくれてありがとう。大変でも、常に山脇祭がよくなるように力を尽くしてくれた実行委員のみんなには感謝しかありません！本当にありがとう。楽しい山脇祭でした！

クラスみんなは、少し変わった企画でも、みんなで楽しんで準備して、お客さんを迎えられて、最終的にはbest of YAMAWAKIになれてよかった！これから残り半年もよろしくね！

・めつつつつつちやお疲れ様でした！違反切符もなくやり遂げることができたのは何気に初めてな気がするし普通に凄すぎる。内装も外装もまじでトップだと思います🥺👍👍👍👍👍ここまでやってこれたのは皆んなのお陰だし、仕事の分担とか協力とかまじ完璧すぎた👏👏👏👏👏

改めてお疲れ様と本当にありがとう !! !!

・楽しくて面白くて青春で最高な山脇祭を1番に考えて支えてくれていた山脇祭実行委員の皆様、本当にありがとうございました!! 沢山動いて働いて支えてくださったり、この二日間のために準備を重ねてくださった実行委員の皆様、最高だったし、来年は自分たちが引っ張っていく側になるので、より良い山脇祭を作って受ける様に頑張っ
て準備して行けたら良いです。

・実行委員のみんな、夏休みが始まる前から案を多く考えてくれてクラスでたくさん呼びかけをしてくれて、準備期間も本番でも自分のわからないこともたくさんあるのに実行委員に多く頼ってしまい、とても大変だったと思うけど、クラス全体が楽しく2日間を迎えられたのは実行委員のおかげです。本当にありがとう。クラスのみんな、私が意見を言った時にみんな耳を貸してくれて賛成してくれたりそれに付け加えて色々案を出してくれて、全員で作り上げる最高の山脇祭ができました。ありがとう。体育祭でもみんなで力を合わせて頑張ろう。

・不安なときもあったけれど最終的にみんなで一致団結できていいものになってやっぱり行事は楽しいと思ったしい思い出になりました。ありがとうございました。

・来年、人生最後の文化祭なのは寂しいけど、学年全員で力を合わせて今までで一番良いものにしたいです！！

【A組 Best of 山脇】

